

公開シンポジウム「TUT オープンチャレンジプロジェクト 2012」

開催のお知らせ

10年後、私たちの身のまわりではどのようなロボットやインタラクティブ・メディアが活躍していることでしょうか。文部科学省 理数学生応援プロジェクトの委託事業として進めてきた『TUT オープンチャレンジプロジェクト』では、機構設計、電子デバイス技術、情報技術、プロダクトデザインなどの多様な専門分野の協働、および学部生、大学院生などの多様な世代間での協働により、10年後に活躍する新たなロボットやインタラクティブ・メディアの企画提案、プロトタイプ構築、国内外での技術展示・コンテストへのチャレンジなどを「スーパーエンジニア養成プログラム」の一環として行ってきました。

本シンポジウムでは、ヒューマンエージェントインタラクション(HAI)研究の最新動向に関する招待講演、本プロジェクトの成果報告、デモンストレーションを通して、未来志向のロボットやインタラクティブ・メディアに関連する技術、および技術者教育プログラムについて、広く情報交換を行いたいと考えています。

記

日時：2013年3月10日(日) 13:00-17:30 参加無料

(ロボット等の展示は、3月9日 13:00-17:30, 3月10日 10:00-17:30)

会場：豊橋市こども未来館 ここにこ

〒440-0897 愛知県豊橋市松葉町三丁目1番地 (豊橋駅東口から北へ徒歩10分)

Tel: 0532-21-5525 (<http://www.coconico.jp/>)

主催：文部科学省 理数学生応援プロジェクト

「TUT オープンチャレンジプロジェクト」運営委員会

ホームページ：<http://www.icd.cs.tut.ac.jp/TUTOCP/>

共催：豊橋技術科学大学 人間-ロボット共生リサーチセンター

京都造形芸術大学 ロボットデザインプロジェクト

問合せ先： Tel: 0532-44-6886 Fax: 0532-44-6873 (担当 岡田)

事前登録：

sympo@tutkie.tut.ac.jp まで、お名前、ご所属、連絡先の情報をお送りください。

事前に参加登録していただいた方には本公開シンポジウムの資料集を用意します。

公開シンポジウム「TUT オープンチャレンジプロジェクト 2012」プログラム

■ 開会挨拶 (13:00-13:10)

岡田美智男 (豊橋技術科学大学 情報・知能工学系)

■ 特別講演 (13:10-14:00)

HAI ヒューマンエージェントインタラクション研究への招待

山田 誠二 (国立情報学研究所／総合研究大学院大学／東京工業大学)

■ プロジェクトの紹介 (14:00-14:20)

「TUT オープンチャレンジプロジェクト」の活動について

大島直樹, 竹田泰隆 (豊橋技術科学大学 情報・知能工学系)

■ プロジェクトの成果報告 (14:20-15:30)

本年度のプロジェクトで制作された未来志向のロボットやインタラクティブ・メディアに関する紹介を行います。

- Conte : 人と一緒に音を奏でる不思議な生きもの
- Toppars : 互いに心地よい距離を探りあう倒立振子型ロボット
- Bounce : 周囲からの声援を受けて飛び上がろうとするロボット
- INAMO+ : 寄り添いながら離合集散を繰り返すパネル型ロボット
- Persona : 多様なロボットの顔となるペルソナ型ロボティックインタフェース
- ほっとフォト : パラパラ動画で不思議な表情を生み出すフォトフレームロボット
- Rasphy : 人のあとをコロコロと追いかける球体ロボット

■ ロボットの展示およびデモ (3月9日 13:00-17:00, 3月10日 10:00-17:30)

上記の本年度のプロジェクトの作品に加え、これまでに制作されてきたロボットやインタラクティブ・メディアの展示およびデモを行います(一部は静態展示)

- COLUMN 2012 : 形状を変形させながら転がるロボット
- マコにて 2012 : 手をつなぎながら一緒に散歩する、孫のようなロボット
- i-Bones : 背骨をモチーフとした無表情でかわいいロボット

- Sociable Trash Box : 子どもたちと一緒にゴミを拾い集めるゴミ箱ロボット
- CULOT: 子どもたちと一緒に遊ぶ、ブロッククッション型ロボット
- Sociable Dining Table II : ダイニングテーブル上に棲う、ランプ、ポット、お皿
- Sociable Spotlight : 会話の流れに合わせてながら、自律的に動くスポットライト
- TableTalkPlus : 人の共同性やつながりを引き出すインタラクティブ・メディア
- Robomo : バッグに入れて持ち運ぶ、モバイルなクリーチャ
- Mi:mo : 蒲郡みかん型コミュニケーションロボット
- Sociable PC : トウフのようなロボット、ロボットのようなパソコン
- Mawari : USB ガジェットとして機能する参加型のソーシャルインタフェース
- cocoron : 子どもと触れあい、たどたどしい動きをするタマゴ型ロボット
- Be-Go II : B5 サイズのパーソナルロボット
- Muu : 一つ目をしたコミュニケーションロボット

特別講演の概要、講師の略歴

特別講演： HAI ヒューマンエージェントインタラクション研究への招待

山田 誠二（国立情報学研究所／総合研究大学院大学／東京工業大学）

講演概要：

HAI ヒューマンエージェントインタラクションは、人間とエージェント間の様々な情報の流れをデザインする方法論を研究する、人工知能、ロボティクス、認知科学、哲学などを横断的に扱う日本発の新しい研究分野です。この講演では、具体的な研究例を交えながら、HAI 研究のオリジナリティ、目的、そしておもしろさについてわかりやすく紹介します。

講師略歴：

1984 年大阪大学基礎工学部卒業。1989 年同大学院基礎工学研究科博士課程修了。工学博士。1989 年大阪大学基礎工学部助手。1991 年大阪大学産業科学研究所講師。1996 年東京工業大学大学院総合理工学研究科助教授。2002 年国立情報学研究所教授、現在にいたる。HAI ヒューマンエージェントインタラクション、IIS 知的インタラクティブシステムの研究をしている。